

終末期ケア研修Ⅰ 要項

終末期患者を支えるケア

「限られた時間のなかでその人らしい最期を支えるためのドリームプランを立ててみよう。」

2026.08.06 看護局

1. 目的

終末期看護では、症状への対応とともに患者さんご家族が「その人らしい最期」を迎えられるよう支援することが求められます。

終末期にみられる身体的変化を理解するとともに、看護師が実践できる非薬物療法や全人的ケアについて学びます。終末期に関する「ドリームプラン」を作成するワークを通して、限られた時間の中でも実践できるケアを考え明日からの看護につなげます。

2.到達目標

- ① 終末期にみられる身体的変化を説明できる。
- ② 身体症状に対する基本的な非薬物療法を理解し、ケアの選択肢を増やすことができる。
- ③ 身体面・心理面から患者さんの苦痛を整理し、全人的な視点でケアを考えることができる。
- ④ 医師と共有すべき情報や、終末期におけるチームコミュニケーションの重要性を理解できる。
- ⑤ 「その人らしい最期」を支えるために、自分が明日から実践する行動を一つ言語化できる。

3.日時：8月19日（水）17：30-18：30

4.場所：稲沢市民病院 2階講堂

5.対象：地域の医療介護従事者

6.講義内容（60分）

- ① 終末期に起こる身体の変化（15分）
- ② ケアの引き出しを増やそう（15分）
痛みへのケア・非薬物療法の基本・呼吸困難感・悪液質のメカニズム
- ③ ケアの選択肢を整理するワーク(30分)